国臨協関信支部茨城地区会だより

いばコミ

2025.2
VOL.24

茨城地区会レクリエーション
5年ぶり開催!!

CONTENTS

・国臨協関信支部学会ポスター
・事務局だより
・新入会員紹介
・会員の声
・地区会レクリエーション開催!!

第52回国臨協関信支部学会茨城地区会ポスター

テーマは
『PRIDE ～わが地区会が誇るオンリーワン～』でした

皆さまご協力いただきありがとうございました

いやどうも!!

事務局長だより

本年度、茨城地区会事務局長を務めさせていただいております霞ヶ浦医療センター白倉です。令和６年６月１日に第４４回国臨協関信支部茨城地区会定期総会を執り行い、令和６年度の事業方針、役員が承認されました。実に５年ぶりとなる集合型での定期総会開催となり、総会後の懇親会も含めて会員相互の交流が久しぶりに図れたことは心から嬉しく思います。地区会役務としては、本年度の理事会も昨年同様にWeb会議とメール連絡で各理事と綿密な連携をとりながら会務を遂行しております。

令和６年度茨城地区会の活動といたしましては、第５２回国臨協関信支部学会（令和６年９月７日開催）において地区会コーナーの掲載を行いました。『PRIDE～わが地区会が誇るオンリーワン～』をテーマとして、茨城県が誇る名所や食べ物を各施設から紹介してもらい、魅力を存分にアピールすることが出来ましたが、惜しくも入賞にはあと一歩届きませんでした。ポスター作成にご協力いただいた各施設の皆様におかれましては、この場をお借りして感謝申し上げます。

また、今年度は地区会レクリエーションも５年ぶりに開催し、笠間でろくろ陶芸体験と古民家レストランで創作和食を堪能しました。笠間稲荷神社が目の前にあるロケーションでしたので、食後に神社を参拝し、名物の笠間の栗を食べた参加者も多いのではないでしょうか？気になる陶芸の焼き上がりは、２月頃を予定しておりますので、『いばコミ』を読みながら楽しみに待っていただければと思います。今回参加することが出来なかった会員の方は、次回のイベントの際にはぜひご参加いただき、茨城地区会を一緒に盛り上げていただけますと幸いです。

最後になりますが、茨城地区会員の皆様にとって有意義な活動となるように引き続き会務を進めて参りますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

霞ヶ浦医療センター　白倉　聡

茨城地区会レクリエーション開催案内

令和６年度国臨協関信支部茨城地区役員

会長	山田 晃子	(霞ヶ浦)
事務局長	白倉 聡	(霞ヶ浦)
理事	矢﨑 晴識	(水戸)
理事	森 明日香	(霞ヶ浦)
理事	石川 遼	(茨城東)
精度管理委員	細井 龍之介	(水戸)
精度管理委員	伊勢谷 洋平	(霞ヶ浦)
精度管理委員	福岡 佑基	(茨城東)

Welcome IBARAKI

新入会員紹介①

水戸医療センター　太田　修司

令和６年４月１日付けで水戸医療センター副臨床検査技師長を拝命いたしました太田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
臨床検査技師としての職歴は、国立精神神経センター武蔵病院で賃金職員として採用され、３施設経験しました。主に検体業務検査に携わり自己研鑽や、後進の育成など技術的な管理に努めてまいりました。がんセンター中央病院では、ISO 15189認定を取得した組織が、そのツールをどのように活用しPDCAを回しているのか、ISOの効果的な活用方法を学びました。さらにシステム・分析装置の更新と一大イベントを経験し、今年４月、転勤となりました。システム・分析装置の更新を終え、転勤がささやかれる中、転勤があるならISO未取得の施設を希望していました。そして、ISO未取得の施設、水戸医療センターへ（車購入による手痛い出費）。
水戸医療センターで時が経過し、不慣れな業務にも少しずつ適応できるようになりました。今後は、よりよい職場環境の構築や人材育成に努めていきたいと考えているさなか、まさかのISO 15189認定取得に向けたキックオフミーティング。
確かに転勤時にはISO未取得だけど。今では文書などの資料作成の業務に追われる日々を過ごしています。ISO取得し、知見を広げることができた際には、ISO未取得の施設でISO 15189のメリットを伝えていくエバンジェリストとして活躍できればと考えています。
ISO施設での経験者が少ない環境での挑戦となりますが、スタッフと協議しながら水戸医療センターならではのものを作り上げていきたいと思います。

水戸医療センター　小林　亮治

令和６年４月１日付けで国立病院機構水戸医療センターの副臨床検査技師長として昇任いたしました小林亮治（こばやしりょうじ）と申します。
私は平成２４年に臨床検査技師の免許を取得し、技師として国立病院機構埼玉病院に７年、主任技師として国立病院機構千葉東病院に５年、ともに細菌検査に従事してまいりました。埼玉病院ではISO 15189:2012の取得時に細菌検査室の技術管理者として携わりました。また千葉東病院に異動した年度には新型コロナウイルスの流行が始まり、細菌検査室の主任として、また院内ICTの一員として微力ながら尽力してまいりました。水戸医療センターで３施設目となります。異動に伴い、妻とともに水戸に引っ越してまいりました。茨城に引っ越してからは、国営ひたち海浜公園にネモフィラやコキアを見に行ったり、那珂湊おさかな市場、袋田の滝、アクアワールド・大洗に行ったりと満喫しております。また５月より猫（保護猫）を飼い始めました。５月（皐月：さつき）に迎えたということと、保護猫の時の名前が「たまきち」ということもあり、「さつきち」と名付けました。「さつきち」に毎日癒されています（私には懐いていないですが笑）。
以前のどちらの施設でも検体検査には大きく携わってこなかったため、当直業務等、四苦八苦しております。また副技師長業務もこれまで業務とは違い未知の領域のため力不足ではありますが、日々奮闘しております。一日でも早く業務に慣れ、皆様に信頼されるような副臨床検査技師長になれるよう努力してまいります。
皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

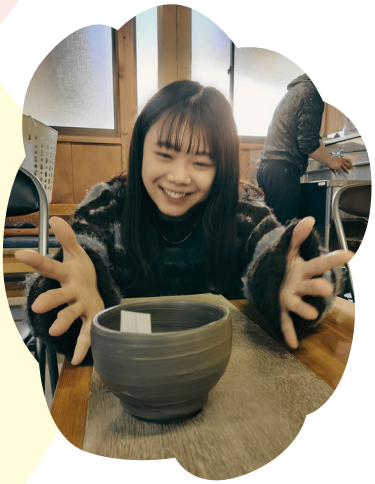
Welcome IBARAKI

新入会員紹介②

水戸医療センター　星野　愛美

令和６年４月１日より水戸医療センターに採用となりました星野愛実（ほしのあいみ）と申します。
出身は群馬県です。何も無いと言われがちな群馬県ですが、自然が多く温泉も多いので休日ゆっくりしたい方にはとてもおすすめな県です。茨城県とは山か海かの差くらいですが、群馬は海無し県なので、地元の友達に海まで30分程で行けることをよく自慢しています。強いて言うのであれば、茨城県にきてからパスタ屋の少なさに驚きましたが、地元（高崎）に沢山あっただけなんだなあと離れてから気付かされました。
これといった趣味が特になく、休日は友達との予定を詰め詰めにして遊ぶことが多かったですが、地元を離れてから会える友達が減ってしまい少し寂しい休日を過ごしています。先日、地区会で行った笠間焼のロクロ体験がとても楽しく、作る方も集める方もハマりそうな予感がしております。
最近の楽しみは、お昼の時間に先輩方と食堂へ行き、ご飯をモリモリ食べることです。小・中・高と12年間ソフトボールをやっていたのですが、大量にご飯を食べていた現役時代から食欲が変わらず一般女子の３倍くらいは食べられてしまうので、健康と体型には気をつけようと思っています。
水戸医療センターでは検体検査を担当しています。最初の５,６ヶ月は生化学検査を担当していましたが、現在は血液検査を覚え始めています。まだまだ分からないことが多く先輩方にご迷惑をおかけしていますが、新しい知識をどんどん吸収していき、精一杯仕事に励みたいと思います。今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

水戸医療センター　加藤　望愛



令和６年４月より水戸医療センターに配属になりました。加藤望愛（かとうもえ）です。
出身は神奈川県の藤沢です。藤沢には江の島があり、幼少期から海が近くにある生活をしてきました。茨城にも海があるのでうれしいですが、車がないので簡単に行けないところが難点です。通勤は自転車で１５分ほどかけていますが、茨城の夏はすごく暑いですし、冬はすごく寒いので、車の購入を強く検討しています。
趣味は音楽で、よくライブに行きます。水戸駅にはライブハウスがあるのですが、そこのライブハウスは全国のライブハウスの中でも音響がとてもいいと言われています。水戸に来てから何度か行きましたがやはり音響がよくて感動しました。また、ひたち海浜公園といえばROCK IN JAPANです。来年からは千葉のみの開催が決定してしまいましたが、茨城での最後のロッキンに行けて私は満足です。
現在私は生理機能検査を担当しています。水戸医療に配属される前は、国立がん研究センターで非常勤として勤務しており、そこでも生理機能検査を１年担当していました。心電図、肺機能、脳波を主に担当していますが、少しずつエコーも入らせてもらっています。超音波検査士の資格を取りたいと学生のころから考えているので、経験値をあげながら学び、超音波検査士の取得へ日々努力していきます。
生理機能検査は患者さんと接する検査ですので、毎日いろんな方とお話ししています。その中で、患者さんから感謝されたり、立派だねと言われたり、日々やりがいを感じています。最近だと、近くに新しくできたスーパーの話をしてくれる患者さんがたくさんいて、主婦の知恵が高まりそうです。

Welcome IBARAKI

新入会員紹介③

水戸医療センター　山口　修那

令和６年４月1日付けで、水戸医療センターに赴任しました山口修那（やまぐちしゅうな）と申します。以前は国立精神・神経医療研究センター病院で非常勤職員として２年間勤務していましたが、この度常勤職員としての採用となりました。出身が茨城県なので水戸医療センターで働けることを嬉しく思います。実習でもお世話になった施設なので懐かしさもありつつ、また不思議な縁を感じております。前施設では病理検査をメインに検体検査も少し行っておりました。現在も病理検査に従事しているため、経験を活かせていけたらと思っております。
趣味はバスフィッシングです。始めたのは２年前ですが東京で一人暮らしをしていたこともあり、なかなか釣りに行く機会がありませんでした。しかし、今年度から地元である茨城が勤務地になり休日はよく釣りに行っております。バス釣りで有名な霞ヶ浦に最近はよく行くのですが他にも川や池、沼などでも釣りをしています。釣りではよく朝や夕方が釣れるといわれており日が長いときは朝の５時からスタートし夕方の１８時まで約１２時間釣りをするなんて日もあります。意外と時間はあっという間に過ぎてしまうので素晴らしい趣味に出会えてよかったと思っております。
今年は非常勤から常勤職員になりますが、まだまだ知識やスキルなど不足している部分が多くご迷惑をお掛けするかと思います。精一杯頑張りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

茨城東病院　河畑　颯杜

令和６年４月１日付で茨城東病院に新卒採用となりました河畑颯杜（かわはたはやと）と申します。出身は茨城県の小美玉市で、現在は東海村に住んでいます。私の趣味は読書やコーヒーです。
まず読書について。私はミステリー小説から恋愛小説、ライトノベルなど様々なジャンルの本を読みます。本が好きな理由は、本を読むことで現実とは異なる世界を楽しむことができるからです。これはただ現実逃避したいというわけではありません。本を読むことで、他人の考え方を知り、自分のものの見方が変わるということです。また、本を誰かに勧めるならば、「天久鷹央の推理カルテ」を勧めます。ジャンルは医療ミステリーです。読みやすいので本を普段読まない方にもおすすめです。
次にコーヒーについて。私は読書のお供にコーヒーをよく飲みます。自分でコーヒー豆を挽き、ドリップして作ったコーヒーを飲みながら読書するのは、ゆったりとした時間を過ごせるので好きです。
続いて茨城東病院での私の担当業務について説明します。茨城東病院では検体検査とPSG（終夜睡眠ポリグラフ検査）の解析を担当しています。検体検査は４月から行っているため慣れてきましたが、PSGの解析はまだ始めて２～３か月で不慣れなため、もっと研鑽を積みたいと考えています。検体検査室で働く中で、学生の頃とは異なる点に興味が出てきています。それはメーカー毎に性能が異なる検査機器です。検体数や検査項目、検査室の人数などを考慮し、どのメーカーの検査機器が自分の働く施設に適しているのか考えるのは面白みがあります。いくら性能が良い検査機器でも検査室に不適であれば、検査が効率よく回らなくなってしまうので、メーカー毎の検査機器の性能を知っておくのは非常に重要だと思います。
まだまだ検査技師として不足していることがあり、ご迷惑をお掛けしてしまうかもしれませんが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

Welcome IBARAKI

新入会員紹介④

霞ヶ浦医療センター　山田　晃子

令和６年４月１日付で、下総精神医療センターより昇任で赴任しました山田晃子（やまだあきこ）です。国立国際医療センターで賃金職員として５年半勤務し、がんセンター東病院で正職員として採用され20年勤務しました。そのままがんセンターに骨をうずめるつもりでいましたが、なんとなく言った「転勤してもいいかな？」の一言で、すぐに下志津病院さらに下総精神医療センターに異動となり、ほぼ千葉県内で勤務をしてきて茨城地区会は初めてとなります。
自宅は千葉県柏市で、川を越えればすぐ茨城県という場所に住んでいながら、日帰り旅行で筑波山、ひたち海浜公園、牛久大仏と数えるほどしか茨城に来たことがありませんでした。
都道府県魅力度ランキングでは、今年は45位と最下位ではなかったものの...
しかし来てみればみどころいっぱい、おいしいところ、おいしいものがいっぱい。
食べることが大好きで、出かけた先の近くに、某サイトで星の点数が高いお店はないか？と検索しては食べ歩きをしています。
霞ケ浦医療センターに赴任してからは、帰り道にたくさんラーメン屋さんがあり、検索しては、ふらふらと食べに寄っています。先日、当院の主任とラーメン屋談義で盛り上がり、情報交換をしました。
ただ必ずしも、高点数＝自分が美味しいではない、と感じていて自分の好みの美味しいラーメン屋さんをまだまだ探したいと思っています。
そのほか、パン、スイーツが大好きでこちらも検索しては足を延ばしていますが、最近巷で人気の干し芋にもはまりました。この頃の人への御遣い物はもっぱら干し芋です。
美味しいものへの欲が抑えられず、年々体が大きくなってきていますが、まだ大丈夫かな？と思っていますので、お勧めの美味しいお店、おいしい食べ物がありましたら、ぜひ教えてください。
異動してからは、検査科スタッフの協力のおかげで、技師長業務に不慣れでありながらもなんとか過ごしてきました。今年は地区会の文化交流も無事に開催することができましたが、さらに茨城地区会を盛り上げていけたらと思っていますので、宜しくお願い致します。

霞ヶ浦医療センター　藤川　穂香

令和６年４月１日付で渋川医療センターより参りました、藤川穂香（ふじかわ ほのか）と申します。出身は秋田県で、自然豊かな環境の中で育ちました。その影響もあり、趣味はカヌーと御朱印集めです。カヌーは自然の中で四季折々の景色を楽しめるところが魅力的で、水面から見る景色は格別で心がリフレッシュされる瞬間です。また、御朱印集めを通じで神社仏閣を訪れ、歴史や文化に触れるのも好きです。職歴は専門学校卒業後、民間病院で約４年間勤務し、生理機能検査を担当していました。その中で、技術の向上や専門性をさらに高めたいという思いが強まり、国立病院機構への入職を決意しました。国立病院歴はまだ浅く、今年の１月で４年目となり、霞ヶ浦医療センターが２施設目になります。今回の異動で主任臨床検査技師という立場を任され、正直なところ私はリーダーシップがあるタイプではないため、私に主任が務まるのだろうかという不安がありました。実際に主任として業務に取り組む中で、これまで技師として自分の業務に集中していた時とは違い、部署全体を見渡しながら、スタッフの業務状況や上司、他部署との連携など、多岐にわたる課題に直面しました。半年以上が経ち少しずつではありますが手ごたえを感じる瞬間が増えてきました。主任とはこうあるべきという固定概念にとらわれることなく、自分らしいリーダーシップを模索しながら成長していきたいと思います。まだまだ至らない点も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

会員の声

水戸医療センター　鈴木　竜斗

水戸医療センターでは１１月２５日（月）、２６日（火）にバレーボール大会が行われました。院内でレクリエーション大会が開催されるのは５年ぶりとのことです。私は臨床検査技師になって３年目で、コロナ禍に入職しました。病院内の他職種の方との交流はもちろんのこと、検査科内でも新年会や忘年会などといったイベント事を行うことができず、検査科全員揃って何かをするということが一度もありませんでした。今回のバレーボール大会は全員参加とまではいきませんでしたが検査科からは部長も含めて１３人が出場しました。チーム名は諦めずに最後まで頑張るぞ！という気持ちを込めて「ダイハード」にしました。初のレクリエーション大会ということで軽い気持ちで参加しましたが、実は本格的な大会らしく、業務時間終了後に練習時間が設けられていました。体育館の練習場所がすぐに埋まってしまうほどにどこの部署も本気で大会に挑んでいました。聞いた話では検査科は一度も１回戦突破したことがないとのことで、絶対に1勝はしたいと思い、私たちも業務時間終了後すぐに体育館へ走り、負けじと練習に励みました。そしていざ本番、第１試合目は病棟看護師さんと対戦しました。試合は３セットマッチで、ファイナルセットのデュースまで行うという接戦の試合でした。結果は検査科が勝利を収め、初の１回戦突破ということで１回勝っただけとは思えないぐらい喜びました。ちなみに第２試合目は強豪病棟看護師さんにストレート負けしました…。負けたことは悔しかったですが、検査科一丸となって行事に取り組むことは私自身初めてでしたので、とても楽しい思い出となりました。
レクリエーション大会は毎年行われているみたいですので、来年に向けて少しずつ準備していきたいと思います。

茨城東病院　松永　耕治

茨城東病院に転勤してすぐに長期の病気休職を頂き、本年度から復職しました。まずは長期療養の間にサポートおよび配慮して頂いた技師長および技師の皆様方にこの場を借りましてお礼を申し上げます。
さて、今も定期的な治療のため茨城と神奈川を車で往復しています。そこでいつも感じるのは、茨城は食材の宝庫だということです。一例としてまずは常陸牛、ひたちなかのほしいも、次に涸沼のシジミとウナギ、笠間の栗、そして奥久慈しゃも、鉾田のメロン、霞ケ浦のレンコンなどなど、一年を通して旬の物がスーパーや近くの市場に並ぶのは、うれしい限りです。
この中で１番気にいったのは涸沼のシジミ汁です。シジミの鮮度も良いことと、シジミ自体がアサリ並みに大きいので、出汁も濃く、シジミの身も食べ応えがあるので、何杯でも食べれます。これが神奈川のスーパーで買うと、同じ値段でもシジミがかなり小さくなるので、シジミ汁として身を食べることはできず、出汁を飲むだけになり、びっくりするほどの質の違いを感じました。
２番目は笠間の栗（モンブラン）です。今年の「道-駅グランプリ」で１位を取った「和栗モンブラン」は、他のモンブランと違って甘さを控えたシンプルな栗の甘さが味わえる一品です。また健康を願って、笠間稲荷神社にはよく足を運びますが、そこで夏季限定「アヒルの水みくじ」なるものがあり、おもちゃのアヒルが水鉢に並ぶ様子（写真）で癒されてます。

このように、旬でおいしいものが食せることは、茨城ならではの贅沢だなあと感じています。グルメ紹介みたいになりましたが、茨城の旬を取り入れて、楽しく健康に留意していきたいと思っております。

陶芸体験

古民家和食レストラン

笠間の栗を堪能

5年ぶり開催

茨城地区会 レクリエーション

霞ケ浦医療センター
齋藤　ひとみ

地区会レクリエーションに参加して

１２月７日（土）に参加した茨城地区会レクリエーションについてお話させていただきます。場所は笠間市にある「桧佐陶工房」にて、ろくろ陶芸体験を行いました。体験内容は電動のろくろを用いて、湯飲みやお椀を１つ作ることができます。その中で私はお椀作りに挑戦しました。 初めに作り方の説明がありましたが、覚えきれなかったので、とりあえず流れに身を任せて作ろうと思いました。実際に粘土に触れると少しザラザラしていて、思ったよりも固いなと感じました。水を含ませながら粘土に穴をあけて、少しずつ広げていきました。初めは湯飲みの形を作ってから、お椀の形にします。湯飲みを作るまでが苦戦しましたが、湯飲みからお椀にするあたりからは楽しく作ることができました。結果として、少し窪んだお椀が完成しました。

想像通りに作るのは中々難しかったです。お椀の色は黒色を選びました。作品は２～３月頃に届く予定なので、完成が楽しみです。ろくろ陶芸体験が終わった後は、笠間稲荷神社近くの古民家和食レストラン「朱の門」でランチをいただきました。ここでは、鉄板置きに使用する紙の向きをずらしてはいけない、コーヒーはブラックのみの提供などルールが独特でしたが、食材を活かした料理が沢山あり、すごく美味しかったです。壁には[静かにご会食を]と貼られていたので、参加者は皆さん静かに食事をいただきながら、交流を深めていました。

最後には店主がじゃんけん大会を始めて、勝ち抜 いた２名にはシクラメンをプレゼントしてくれました。突然だったので、正直ビックリしましたが、良い思い出になりました。茨城地区会レクリエーションは初参加だったので、久しぶりの開催に参加できて良かったです。今年の冬も様々な感染症が流行っていますが、徐々に交流できる機会が増えることを願っております。

photo album

編 集 後 記

今号は８名の新入会員の紹介と３名の会員の声、本年度地区会ポスターを掲載させていただきました。ご協力いただいた皆さまありがとうございました。今年度は待望の地区会レクリエーションが開催できて、茨城地区病院間との連携やコミュニケーションの活性化が図れました。また会員の皆さまのご支援のおかげで、和気あいあいとした雰囲気で交流できましたことを、心より感謝申し上げます。

さて、皆さまもご存じの通り、インフルエンザウイルス、マイコプラズマの検出は例年よりも多く、中国ではヒトメタニューモウイルスの感染が猛威をふるっている状況です。会員の皆さまにおかれましては感染対策等を実施し、心身共に健康でいられることを願っています。　（記：矢﨑）

令和７年２月発行 第２４号
国臨協関信支部茨城地区会
発行責任者 山田 晃子（霞ヶ浦）
編　集　　白倉 聡　（霞ヶ浦）
矢﨑 晴識（水戸）